

製品名: NCoA-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14455**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	NCOA5
別名	NCOA5; KIAA1637; Nuclear receptor coactivator 5; NCoA-5; Coactivator independent of AF-2; CIA
遺伝子 ID	57727.0
SwissProt ID	Q9HCD5
免疫原	抗血清はヒト NCOA5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 345-394

背景

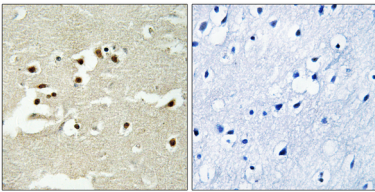
この遺伝子は、 α および β エストロゲン受容体、ならびにオーファン核内受容体 NR1D2 の共調節因子をコードしている。このタンパ

ク質は核内に局在し、コアクチベーター機能とコリプレッサー機能の両方を持つと考えられている。核内受容体との相互作用は、他のコリセプターとの相互作用を制御することが知られている受容体上の AF2 ドメインとは独立している。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた2つの転写バリエーションが記載されている。しかし、そのうちの1つのバリエーションの全長は未だ決定されていない。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン:核内受容体との結合に必須の1つの Leu-Xaa-Xaa-Leu-Leu (LxxLL)モチーフを含む。機能:コアクチベーター機能とコリプレッサー機能の両方を持つ核内受容体共調節因子。ステロイド核内受容体 (ESR1 および ESR2) と、ESR 受容体のステロイド結合ドメイン (AF-2) とは独立して相互作用し、またオーファン核内受容体 NR1D2 とも相互作用する。17 β -エストラジオール (E2) に対する MYC/c-myc の抑制に加え、核内ステロイド受容体 (ER) の共活性化にも関与する。サブユニット: HTATIP2/TIP30 に結合する。組織特異性: 広く発現している。、

研究分野

核シグナル伝達経路; 核受容体; コアクチベーター/コリプレッサー; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 補因子

画像データ



NCOA5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。